



## CS(コミュニティ・スクール) コロナ禍のため、第3回会議は「書面会議」で開催

今年度の訓子府町学校運営協議会の活動のまとめとなる第3回会議を2月21日(月)に予定していましたが、北海道全体が「まん延防止等重点措置」となったため、残念ながら「書面会議」となりました。各学校での部会も多くが書面会議となり、実際に今年度の活動にご意見をいただくことができませんでした。

そのような中ですが、こども園・各学校で、後期の学校評価を行い、今年度の活動の成果や課題をまとめています。以下、概要をご紹介します。(○成果、●課題、◎改善点・今後に向けて)

### 〈こども園〉

- 全ての項目でA評価が50%を超えていることから、おおむね高評価を得ていると判断する。
- 「環境」に関する項目が保護者に高評価な理由は、目につきやすく、やっていることが分かりやすいからと考える。
- 「健康管理」「特別支援」「預かり保育」など、園からの情報が少ない項目は、具体的にどんな取組をしているか保護者には分かりにくい。保護者はコロナ感染への心配がある。
- ◎「活動の見える化」を図り、やっていることを保護者に分かりやすく伝えることが課題である。
- ◎保護者アンケートの設問の工夫も必要である。

### 〈訓子府小学校〉

- 学校評価は、概ねどの項目も高評価であった。
- 児童アンケートでは、子どもたちが、学習や運動、基本的な生活習慣の定着に向けて一生懸命努力していることが、数値としてもよく表れている。
- 保護者アンケートでは、前期は読書や家庭学習の取組に課題があり、その背景として、メディアに触れる時間を挙げていた。後期は、決して十分ではないが一定の成果が見られた。

### 〈居武士小学校〉

- ほぼ高い評価値である。児童が楽しく通える学校、安心して通わせられる学校となっている。
- 校内読書活動を活発に推進できた。家読の取組について具体的な改善策を検討していく。
- ◎基本的な学習ルール、宿題や家庭学習の取組については、全学級で統一した指導を継続する。
- ◎個別最適な学びに向けて、更なるICT環境の充実と活用を推進する。

### 〈訓子府中学校〉

- 保護者からの評価は総じて高かった。
- 「特別活動・学校行事」、「生徒同士、教職員と生徒との人間関係」で高い評価であった。コロナ禍の教育活動への制限が緩和され、達成感を感じさせる教育活動が昨年度よりも実施できた。
- ◎本年度より新学習指導要領が全面実施され、生徒の資質・能力を高めるための指導と評価が求められている。コロナ禍で研究会等の機会が減ってきているが、教職員の研修を進め、生徒一人一人の個に応じた指導・支援を行っていく。

### 〈訓子府高校〉

- 今年度、新たな「くんねっぶ学」の取組を始めることができた。1年生「歴史館見学」、2年生「養蜂体験学習」、「こども園との交流」、「訓子府町長講演会」等。
- 昨年度からの「中高合同農業学習」を今年度も行い、12月には、学習したことを発表する訓中での出前授業を実施した。
- ◎「くんねっぶ学」の取組が増えた。学習内容や回数、系統性などの検証が必要である。

## ◇ 令和3年度 CS(コミュニティ・スクール)の主な活動 ◇

令和3年度後期のスクールサポートのようすを紹介します。コロナ禍の中で各校が感染対策を十分に取りながら、様々な活動に取り組みました。その中で、多くの学校応援団やスクールサポーターの皆様のご協力をいただきました。どの活動でも、教室の中だけの勉強とは違った、子ども達の生き生きとした笑顔を見ることができました。ご協力、本当にありがとうございました。

【こども園「くりひろい」 協力:大谷・高橋さん】

【訓小「コーンレンジャー隊」 協力:味の素食品】

【居小「冬休みの寺子屋」 協力:訓高ボランティア部】



【訓中「こども園との交流」】

【訓高「職場訪問学習」 協力:図書館ほか】

【訓中・訓高「協働農作業学習」】



※ 学校のお手伝いをしていただけませんか？ スクールサポーター募集中です！ ※

## ◇ 教職員が訓子府を知る「くねっぴ学 学校応援団・公共施設見学ツアー」◇

CS初めての取組、「くねっぴ学 学校応援団・公共施設見学ツアー」を各学校が夏休みに入った7月28日に実施しました。町内のこども園・小中学校・高校の教職員20名が参加し、夏休みの半日を使って町内を回りました。子どもたちへの「くねっぴ学」を進めるためには、教職員が訓子府について理解を深める必要があります。訓子府で生活していても、普段の生活では、なかなか訪れる機会のない場所もたくさんあります。

CSにご協力いただいている学校応援団企業や公共施設をバスの中から見学し、下の写真の企業・施設は時間を取っていただき見学しました。参加者からは、「町の歴史や魅力を再確認できた。子ども達にも伝えていきたい。」といった感想をいただきました。令和4年度も実施予定です。



スクールサポーター、学校応援団についてのお問い合わせ：管理課（TEL47-2122）まで